



大腿骨頸部骨折の連携パスについて ～パスの活用から明らかになったこと～



医療法人 凌雲会 稲次整形外科病院
看護師 藤木かほり



はじめに

当院での大腿骨頸部骨折連携パスは運用開始から約5年を経て、概ね150症例となった。今回、日々の看護業務の中で連携パスを通じて見えてきたものを若干の考察を踏まえ報告する。



当院でのパスの運用について（入院時）

《経過報告書》

《地域連携診療計画書》

* 原本は電子カルテ内にスキャン後、カルテへ閉じる。

パソコン上の流れ

入院患者のデータベース

処置表

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) レコード(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

病室一覧

病室一覧 [時間差表] 排泄チェック表 入院者一覧 退院者一覧 転倒転落一覧 経過報告書作成 退院療養計画書作成

100	101	102	103	105	106	107	108	110
0件	0件	0件	0件 中央D	0件	4件	2件	0件	0件 鴨門D

211	212	213	215	216	217
0件	1件 徳大N	0件	3件 徳大N	4件 徳大N	0件 中央N

115	116
1件	0件

207	206	205
3件 中央N	0件 徳大N	1件 徳大N
3件 徳大N	0件	2件 徳大N
0件 市民N	0件	0件 徳赤N
0件	0件	9件 徳大N

111	観察室1	観察室2	201	202	203
0件			4件 徳大N	1件 徳大N	0件 鴨門N
0件			0件 中央N	2件 徳大N	0件 市民N
0件			1件	2件 徳大N	0件
0件			0件	6件	0件

2011/07/27

1	18
2	30
計	48

システム設定

入院患者名簿 病棟患者予定 看護必要度点数 退院予定 看護スタッフ登録 リハビリ登録 入院相談 患者紹介元情報 ヘルプ 統計...

フォームビュー

スタート Microsoft Access 処置表 デスクトップの検索 17:13



当院での連携パスの運用について（退院時）

《経過報告書》

- * 医師・看護師・リハビリスタッフ・MSWが必要事項を記載。
- * MSWから連携先の急性期病院へ送付。
- * 維持期の場合は、転医先へ送付。
- * 在宅サービスを利用予定患者は、居宅介護支援事業所に送付。

パソコン上の流れ

①入院患者のデータベース



処置表

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) レコード(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

病室一覧

病室一覧 [時間差表] 排泄チェック表 入院者一覧 退院者一覧 転倒転落一覧 経過報告書作成 退院療養計画書作成

100	0件	211	0件	212	1件 徳大N	213	0件	215	3件 徳大N	216	4件 徳大N	217	0件 中央N	システム設定
101	0件	115		116										
102	0件		1件		0件		0件	*						
103	0件 中央D													
105	0件													
106	4件													
107	2件													
108	0件													
110	0件 鴨門D													
111	0件	観察室1	観察室2	201		202		203						
*				4件 徳大N	1件	1件 徳大N	2件 徳大N	0件 鴨門N	*	0件 中央N				
				0件 中央N	0件	2件 徳大N	6件	1件 市民N		0件				

2011/07/27

1 18

2 30

計 48

入院患者名簿 病棟患者予定 看護必要度点数 退院予定 看護スタッフ登録 リハスタッフ登録 入院相談 患者紹介元情報 ヘルプ 統計...

フォームビュー

スタート Microsoft Access 処置表 デスクトップの検索 17:13

②経過報告書一覧

処置表

経過報告書一覧

表示件数 293 件

絞込みの方法について以下のボタンで絞り込めます。
 ①連携先、診断パス絞込み * 各未入力絞込みの内、1つ押す
 ②各未入力絞込みの内、1つ押す

全て表示 連携先絞込み 診断パス絞込み

未入力絞込み 未入力絞込み 未入力絞込み 未入力絞込み 未入力絞込み 未入力絞込み 未入力絞込み

患者ID 氏名	連携先	診断パス	入院日	FIM	最終退院時 Barthel Index	維持期 評価時 Barthel Index	医師 コメント	看護師 コメント	療法士 コメント	維持期 コメント	経過報告書 送付日	
■■■■■	徳島大学病院	脳卒中パス	2011/07/13	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島市民病院	脳卒中パス	2011/07/07	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	健康保険鳴門病院	脳卒中パス	2011/07/05	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島大学病院	脳卒中パス	2011/07/04	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島大学病院	脳卒中パス	2011/06/29	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島県立中央病院	大腿骨頸部骨折パス	2011/06/27	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島県立中央病院	脳卒中パス	2011/06/23	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島県立中央病院	大腿骨頸部骨折パス	2011/06/20	済	済	未	済	済	済	未	2011/07/12	選択
■■■■■	健康保険鳴門病院	大腿骨頸部骨折パス	2011/06/17	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島大学病院	脳卒中パス	2011/06/16	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島大学病院	脳卒中パス	2011/06/06	未	未	未	未	未	未	未		選択
■■■■■	徳島赤十字病院	脳卒中パス	2011/06/04	未	未	未	未	未	未	未		選択

検索 新規作成

フォームビュー

スタート Microsoft Access 処置表 無題 - ペイント デスクトップの検索 CAPS KANA 17:14



③経過報告書

処置表

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) レコード(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

徳島県立中央病院 整形外科 経過報告書

フリガナ: [] 生年月日: S10/01/20 発症日: 2011/06/06 暦
 氏名: [] 手術日: [] 暦
 診断名: 右頭部骨折 転院日: 2011/06/27 暦
 手術方法: 人工骨頭 骨折型: 安定型 退院日: [] 暦

生活場所: 自宅
 介護認定: 有 無 申請: [] 区分: 要介護1
 身体障害認定: 有 無 申請: [] 区分: 1級

端座位 開始日 [] 暦 術後 [] 日
 起立～立位 開始日 [] 暦 術後 [] 日
 杖歩行 開始日 [] 暦 術後 [] 日
 階段昇降 開始日 [] 暦 術後 [] 日
 車椅子移乗 開始日 [] 暦 術後 [] 日
 歩行器歩行 開始日 [] 暦 術後 [] 日
 独歩 開始日 [] 暦 術後 [] 日
 屋外歩行 開始日 [] 暦 術後 [] 日

FIMと退院時到達評価 Barthele Index 日常生活機能評価表 維持期到達評価

医師コメント 氏名 []
 看護師コメント 氏名 []
 療法士コメント 職種 [] 氏名 []

経過報告書送付日 [] 暦 氏名 伊藤 千恵

削除 印刷

FIM項目		転入院時	最終退院時
セルフケア	食事	[]	[]
	整容	[]	[]
	清拭	[]	[]
	更衣(上半身)	[]	[]
	更衣(下半身)	[]	[]
	トイレ動作	[]	[]
排泄	排尿コントロール	[]	[]
	排便コントロール	[]	[]
移乗	ベッド椅子車椅子	[]	[]
	トイレ	[]	[]
	浴槽シャワー	[]	[]
移動	歩行 車椅子	[]	[]
	階段	[]	[]
コミュニケーション	理解	[]	[]
	表出	[]	[]
社会的認知	社会的交流	[]	[]
	問題解決	[]	[]
	記憶	[]	[]
合計		([] /126)	

フォームビュー

スタート Microsoft Access 処置表 処置表経過報告書 - デスクトップの検索 17:15

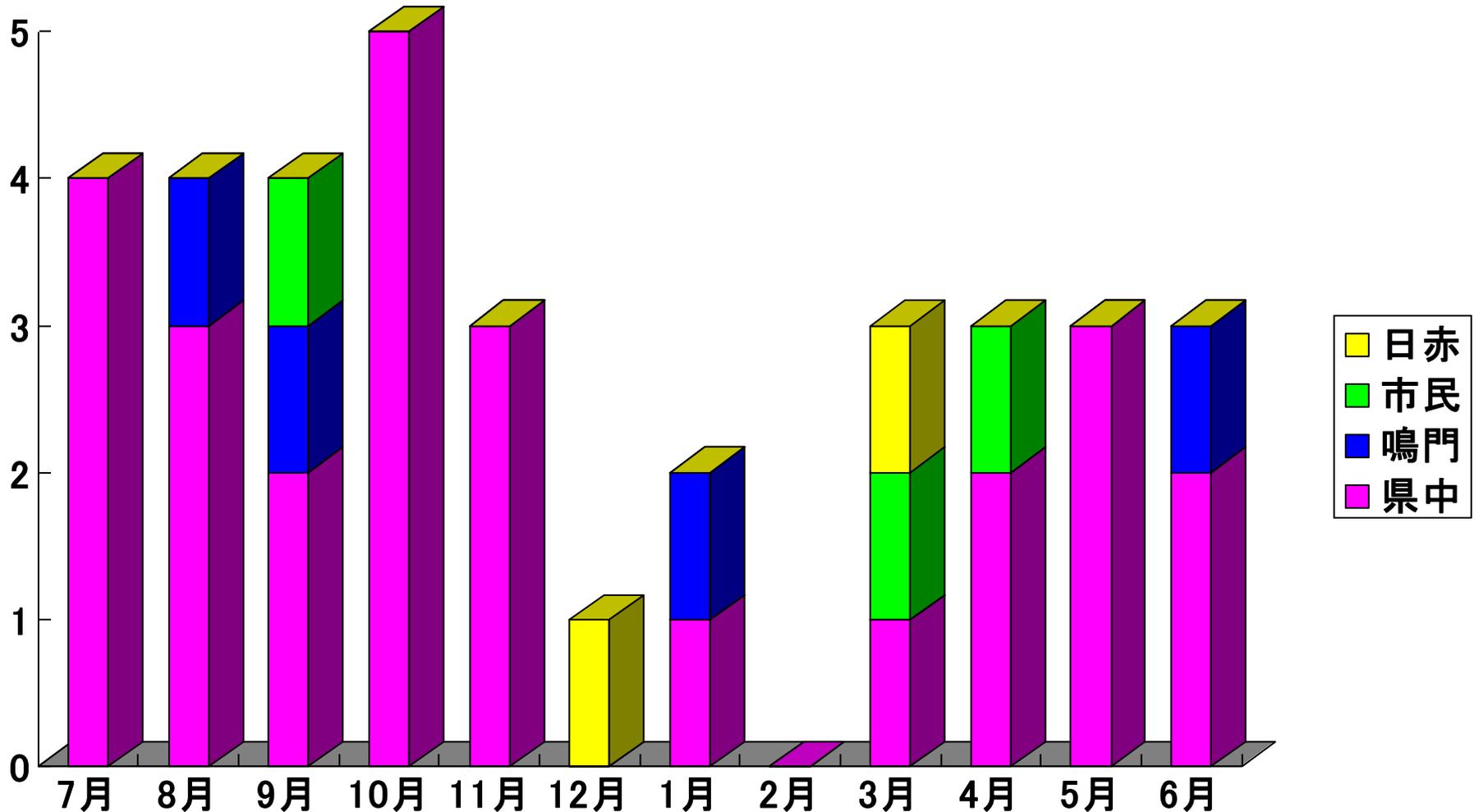


《大腿骨頸部骨折地域連携診療計画退院時 指導書》

- * 当院退院時は、医師・看護師・リハビリスタッフ・MSWが必要事項を記載。
- * 退院時に患者または家族へ経過を説明し、同意を得た上でサインを頂く。
- * 原本を患者へ渡し、コピーをMSWから連携先の急性期病院へ送付。

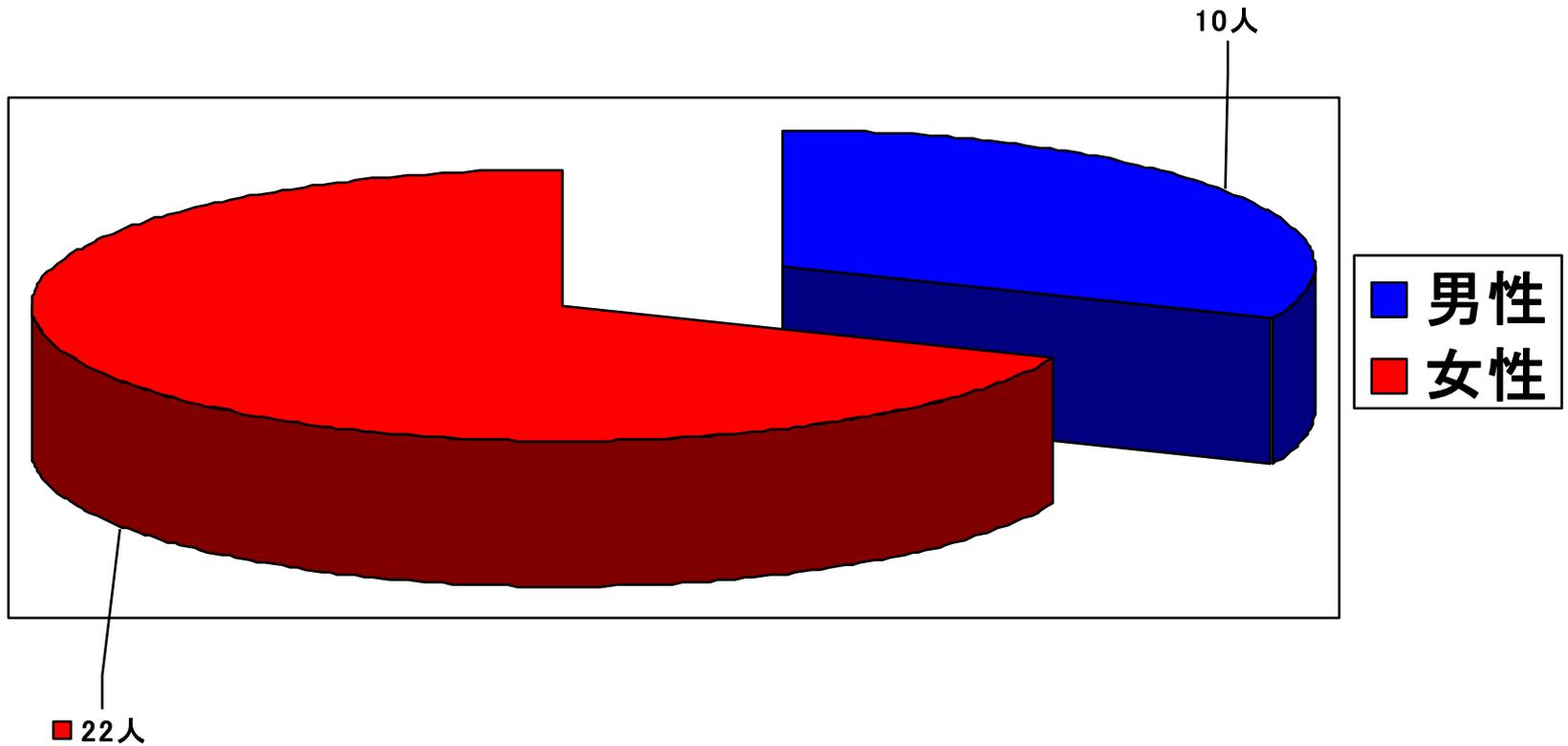


大腿骨地域連携パス入院者 (H22年7月～H23年6月まで 総数32件)



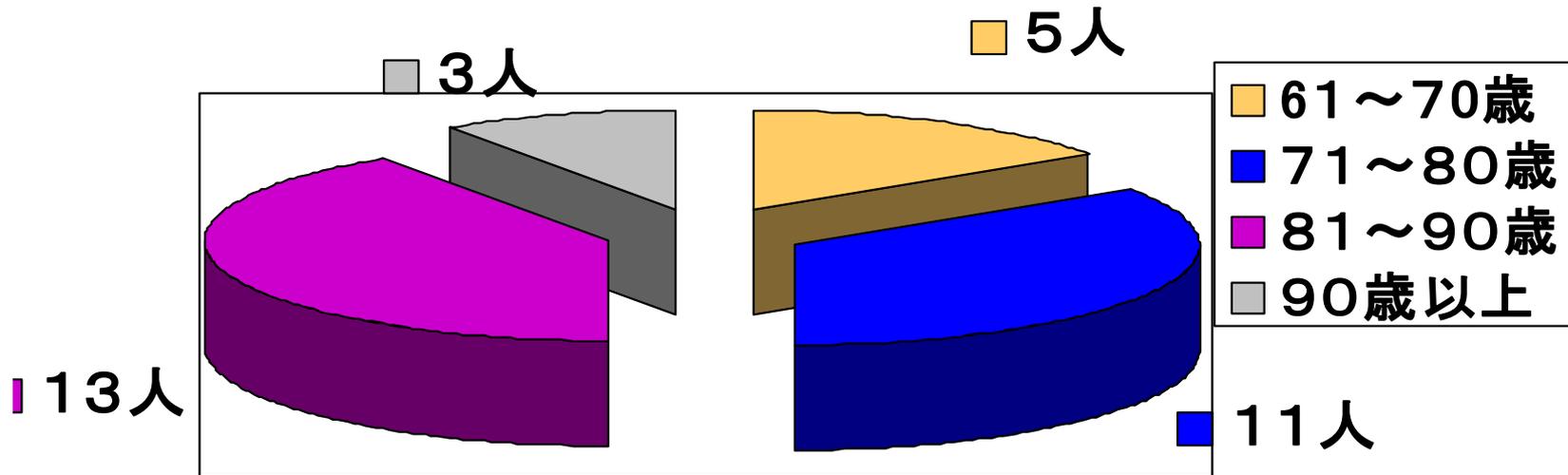


男女比



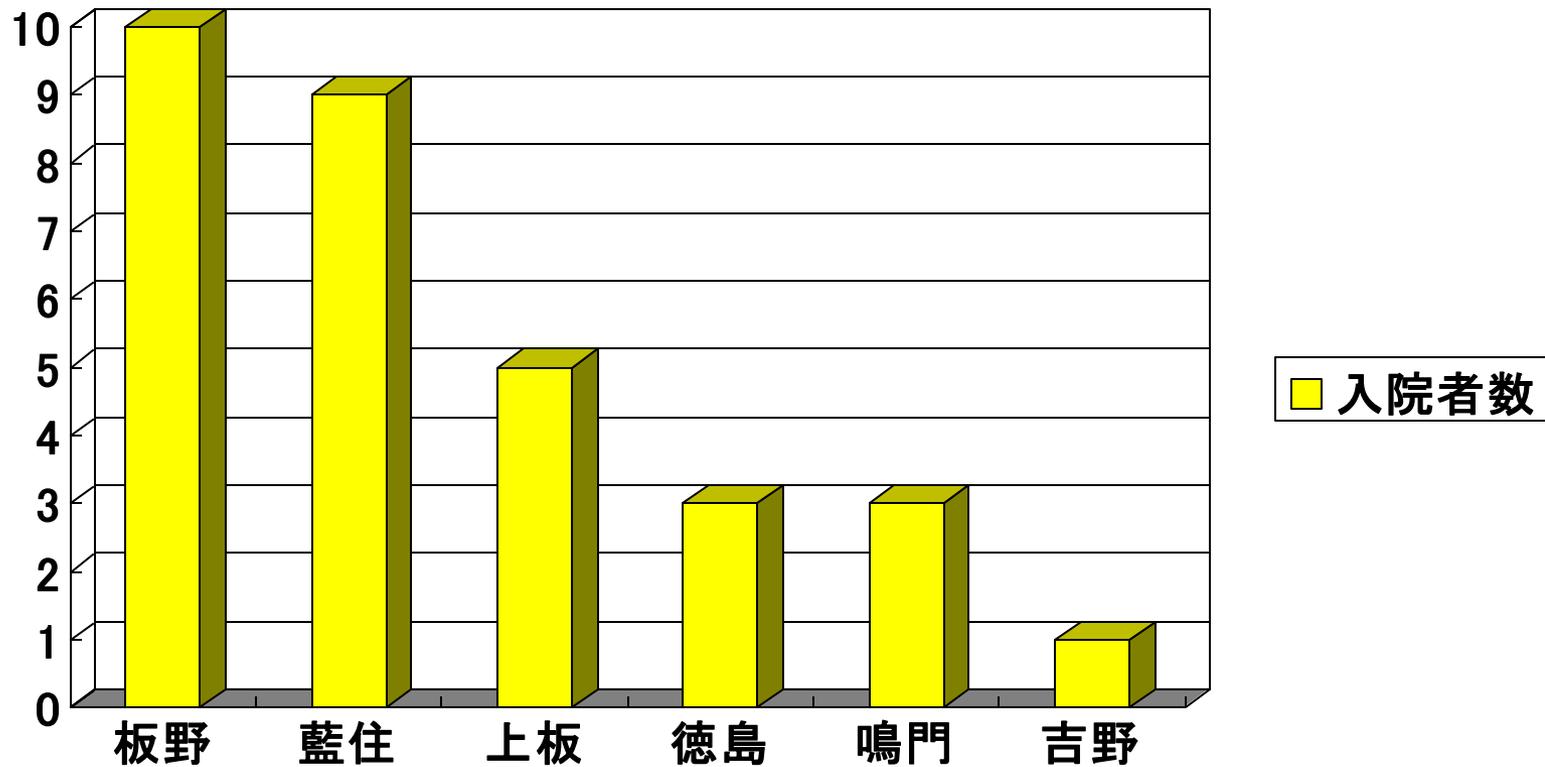


年齢



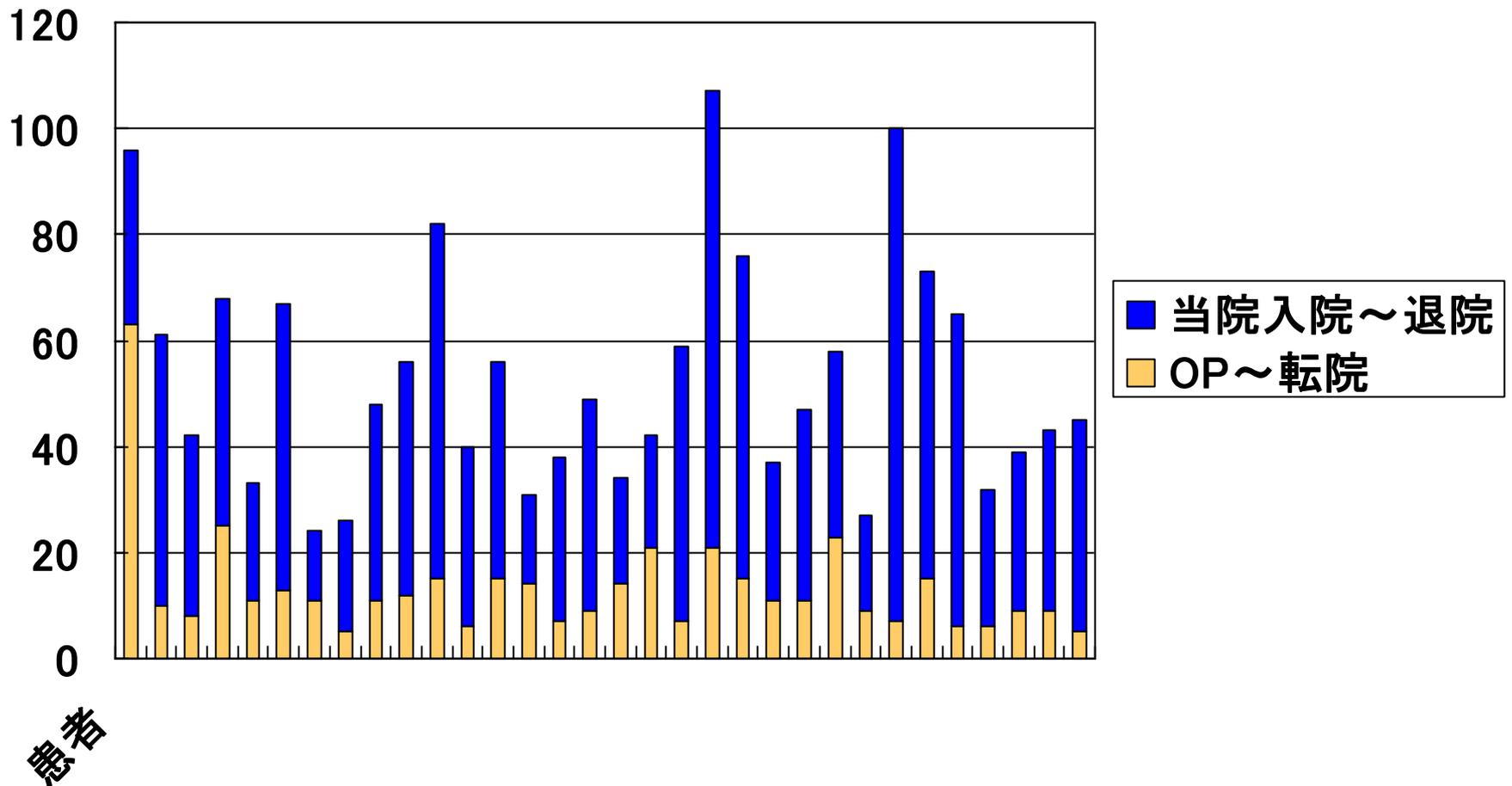


市町村別



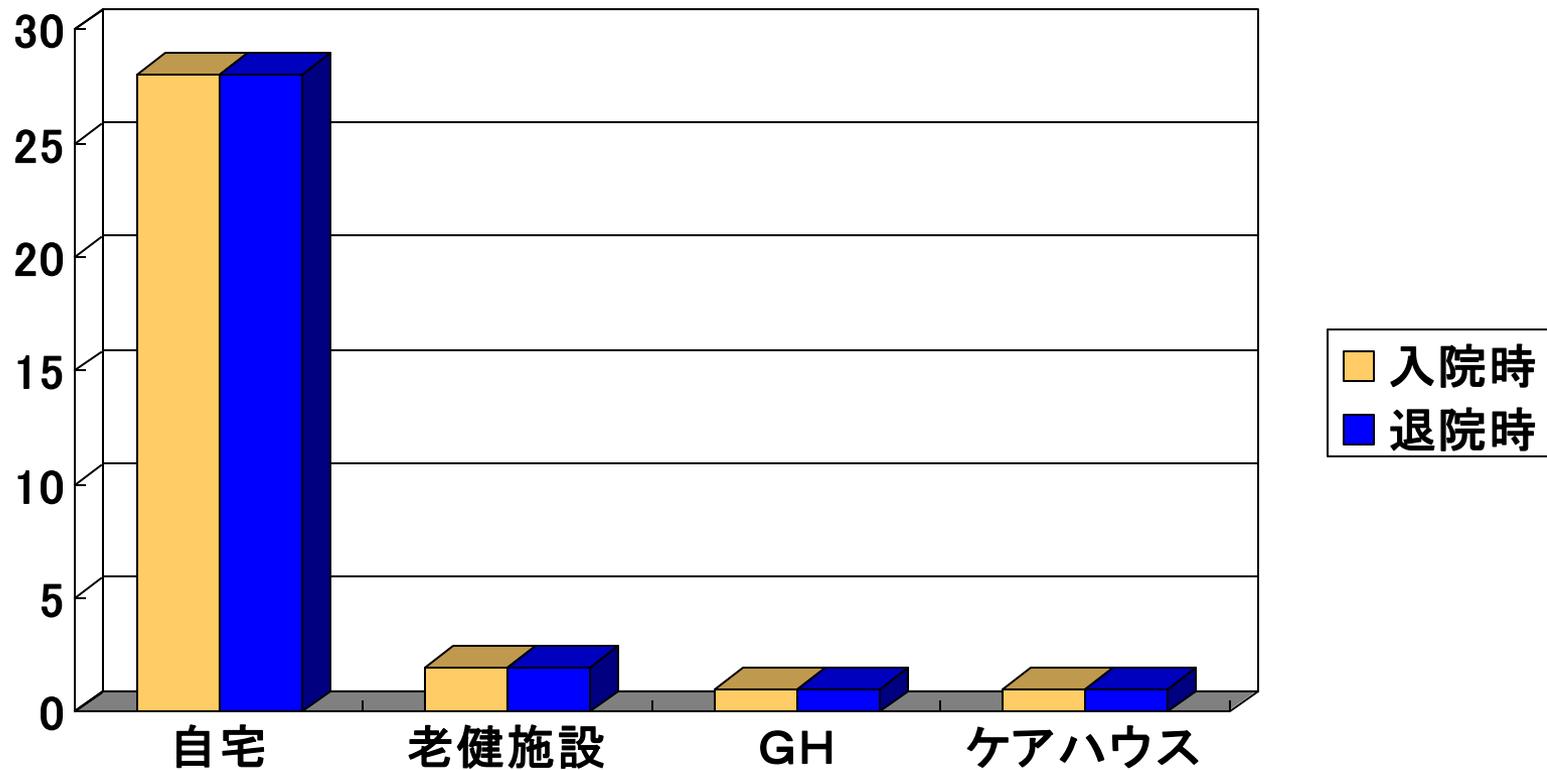


手術から退院までに要した日数



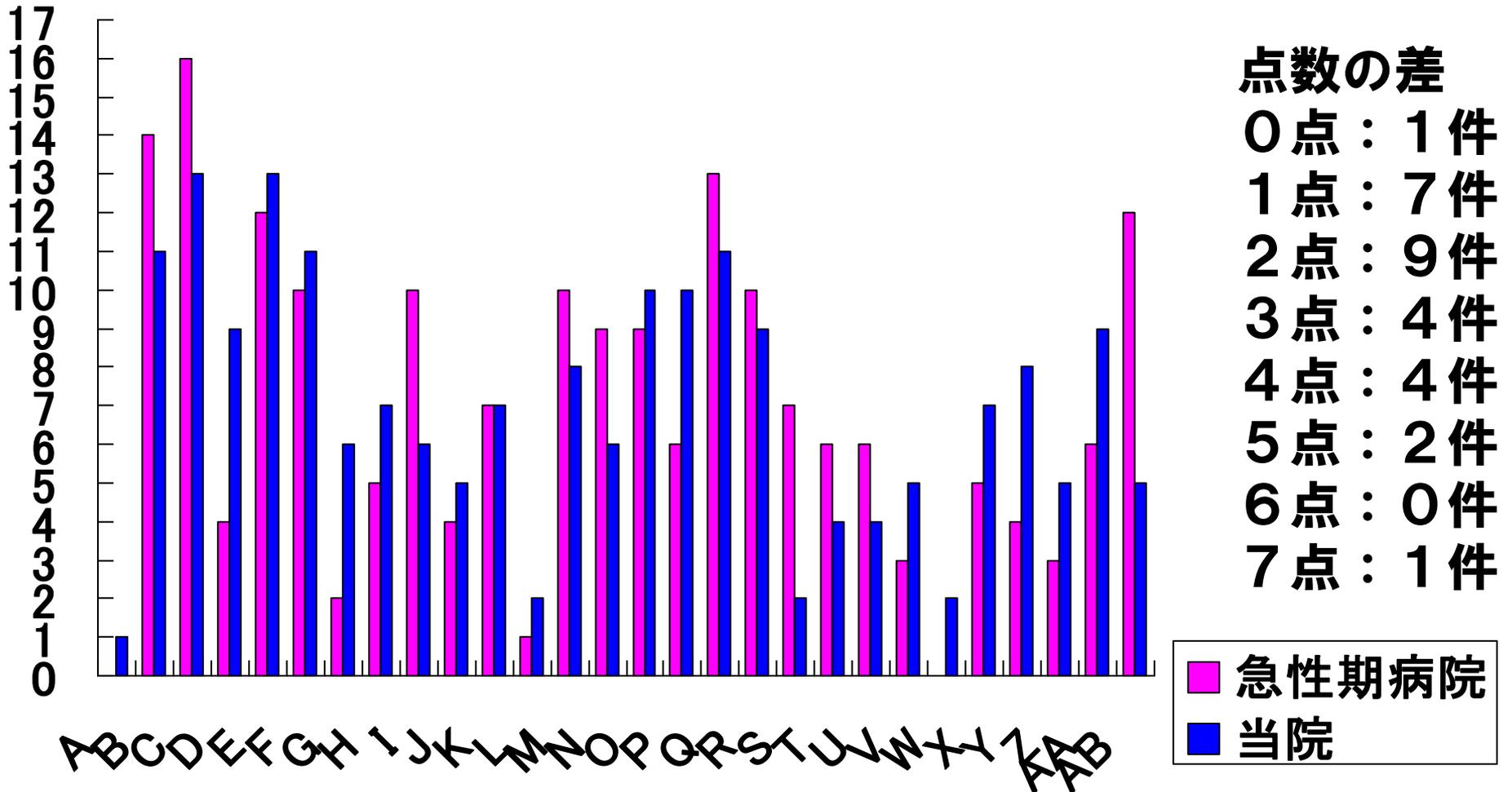


入院前・退院後の生活の場





急性期病院からのパス送信時と当院入院時の日常生活機能評価の差 (28件中平均2.64点)





パスと当院入院初日に記載された日常生活機能評価の点数について

- ・当院入院初日の点数がパスより高い: 18件
点数の差の平均値: 2.33
- ・当院入院初日の点数がパスより低い: 11件
点数の差の平均値: 2.91



考察

- ・男女比は約1:2と女性が多く、男性は79歳、女性は86歳と女性が平均寿命が長いことも原因と考えられる。また骨粗鬆症の男女比1:3~4と女性が多いことも考えられる。
- ・手術から退院までの在院日数が11週を越える患者は32人中4人であり、骨融合の遅延・呼吸器合併症があった。



考察②

連携パスと、当院入院初日の日常生活機能 評価の差

・評価する時間によってケアの差はない？

* 連携パスより当院の点数が大きい

ADL把握が不十分なことによる点数の変動。



移乗・移動の発生によって2～3点の差が生
まれている。



* 連携パスより当院の点数が小さい

入院初日の評価時、認知症の詳細が把握
できていない



前医では認知面の項目で加点されている
が、当院では加点されていない。



今後の課題

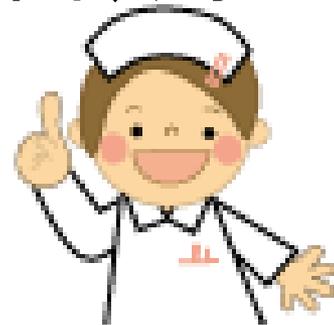
- ・日常生活機能評価の点数が、当院入院時に評価した点数と連携パスの点数に差があれば、どの項目に差があるのか確認し要因を考える。
- ・点数差が移乗・移動の面で発生した時には、リハビリスタッフにADLのレベルを確認するなど情報収集しオーバーケアをなくす等を、入院時早期にとれるようにする。認知面での点数に差がある時は、意思伝達・指示理解の程度、危険行動に配慮しながら看護ケアをしていく。



今後の課題

また、今回は都合上データは省きましたが、パスの到達度を定期的に評価していないため、状態の把握が不十分である。そのため、退院時にパスの説明について、ほとんどの看護師が不安を感じている。

今後は看護ケアを入院時より看護計画、到達度に基づいて実践していく。





ご清聴ありがとうございました。

地域連携パス合同会議に際して、日頃から連携をしていただいている先生方並びに、スタッフ、退院後の支援をしていただいている皆様に感謝いたします。